

JIA文化財 修復塾 2023

2023年度のご案内

JIA文化財修復塾は、災害時における文化財修復塾ドクター派遣活動や、文化庁が行う近現代の建造物リスト作成の人材確保のため、必要スキルを習得する講座として2015年より開講して参りました。この度、e-ラーニングなどの大幅な講座の改変を行うため、新規受講の募集は2024年度（6月以降）となります。2023年度は新講座切り替えに向けての移行期間となるため、11月から開催の現地講座は、現在受講中の方を中心とした講座となりますが、JIA文化財修復塾を受講されていない方でも、現地講座や座学WEB講座が参加可能です。（修了証は出ません。）

CPDの取得や文化財への知識向上、修復塾OBのスキルアップ講座として是非、2023年の講座にご参加ください。

2023年度の現地講座開催のお知らせ



足助伝地区にみる
旧紙屋鈴木家住宅と
旧料亭寿々家の再生の仕方
(開催地：豊田市)
参加費用：8000円
担当支部：東海支部
CPD:3単位(申請中)



重要文化財 門司港駅学
ノスタルジック
海峡建築探訪
(開催地：北九州市)
参加費用：4000円
担当支部：九州支部
CPD:6単位(申請中)



国宝修復現場見学
と郭巨山会所見学
魚谷繁礼設計
(開催地：京都市)
参加費用：4000円
担当支部：近畿支部
CPD:6単位(申請中)



披雲閣耐震工事現場見学
と香川県庁舎東館見学他
(開催地：高松市)
参加費用：4000円
担当支部：四国支部
CPD:6単位(申請中)



オンライン最終講座
文化財修復塾生による
保存活用事例紹介又は
設計事例発表
参加費用：4000円
聴講参加：無料(塾生以外)
担当支部：東海支部
CPD:6単位(申請中)

※半日参加をご希望の場合は、各講座の担当者にお問合せ下さい。半日参加はCPDが付与されませんので、ご注意ください。



※11/11の東海の現地講座は、JIA全国大会の
エクスカージョンとなっています。
大会登録のエクスカージョンからお申込み
ください。

申込・問い合わせ先 JIA本部事務局
E-mail: bunkazai@jia.or.jp

主催：公益社団法人日本建築家協会
／JIA文化財修復塾WG



第1回 (7単位)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 A 文化財保存活用概論①保存 | 北河 大次郎 (文化庁) |
| 2 文化財保存活用概論②活用 | 北河 大次郎 (文化庁) |
| 3 地域文化遺産 | 後藤 治 (工学院大学教授・理事長) |
| 4 地域防災 | 後藤 治 (工学院大学教授・理事長) |
| 5 文化財の火災と防災 | 長谷見 雄二 (早稲田大学名誉教授) |
| 6 災害と文化財ドクター | 前川 歩 (文化財防災センター) |



第2回 (必須7単位)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 B 文化財保存活用地域計画の考え方 | 岡本 公秀 (文化庁) |
| 7 文化財と設計監理の職能 | 田原 幸夫 (建築家) |
| 8 個別建造物の保存活用計画 | 鯨坂 徹 (鹿児島大学教授) |
| 9 修復の理念と国際憲章 | 稲葉 信子 (筑波大学名誉教授) |
| 10 世界遺産条約 | 稲葉 信子 (筑波大学名誉教授) |
| 11 海外の事例から学ぶ保存再生 | 柳沢 伸也 (建築家) |
| 12 英国における建築の修復活用事例 | 南雲 要輔 (ホプキンス・アーキテクト) |



第3回 (必須7単位)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 13 香川県庁舎東館の保存改修 | 香川 政治 (香川県営繕課) |
| 14 コンクリート中性化対策他 | 今本 啓一 (東京理科大学教授) |
| 15 歴史的建造物の保存と構造補強 | 足立 裕司 (神戸大学名誉教授) |
| 16 省エネと保存活用 | 雨宮 正弥 (日本設計) |
| 17 煉瓦造建築物等の構工法と修復 | 長谷川 直司 (国土技術政策総合研究所) |
| 18 旧富岡製糸場西置繭所 | 齋賀 英二郎 (文化財建造物保存協会) |



第4回 (7単位)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 19 伝統木造 | 永井 康雄 (山形大学教授) |
| 20 建築文化遺産の木構造 | 腰原 幹雄 (東京大学生産技術研究所教授) |
| 21 作事奉行 小堀遠州の庭づくり | 野村 勘治 (野村庭園研究所代表) |
| 22 茶室の路地 | 矢ヶ崎 善太郎 (大阪電気通信大学教授) |
| 23 保存活用のマネジメント | 田村 誠邦 (アークブレイン代表) |
| 24 建築文化遺産と景観 | 増井 正哉 (京都大学名誉教授) |



※ヘリテージマネージャーを取得されている方は、第2回講座、第3回講座が必須となります。

2023年 JIA文化財修復塾 参加者の皆様へ



現地講座について

- ・各現地講座はそれぞれの案内に記載されているGoogleフォームより、お申込みください。
- ・現地講座は、集合場所にて集合時間に点呼、諸注意、レジュメの配布を行います。
※15分前より受付を開始いたします。
- ・全講義及び見学会開始後、15分以上遅れた場合は、欠席扱いとなりますのでご注意ください。
- ・欠席の場合は、各回、前日までにメールにて担当者に連絡してください。
当日欠席の場合、担当者の携帯番号まで開始時間前までに連絡をしてください。
- ・見学の際の移動のための交通費（バス、タクシー、鉄道、宿泊費等）、見学のための入場料は、ご自分の負担となります。
- ・昼食については、担当者より事前にお知らせします。
- ・半日参加をご希望の場合は、現地講座担当者にお問合せ下さい。
半日参加は、参加費が2000円となります。参加費は、当日、担当者にお支払いください。
- ・CPDは一日参加の場合のみ付与されます。半日参加はCPDが付与されませんので、ご了承ください。

座学WEB講座 e-ラーニングについて

- ・2023年度からe-ラーニングの試行を開始します。座学WEB講座を受講希望される方には、Googleフォームより、お申込みください。<https://forms.gle/wXLzTTKti8asm4XR6>
- ・e-ラーニングの詳しい内容は、[こちら](#)をご覧ください。
- ・座学WEB講座をe-ラーニングシステムで受講される方は、2023年度開講期間中内に必ず聴講を完了させてください。（2023年11月13日から2024年3月31日）
今年度中に座学が完了できなかった方は、来年度受講も可能ですが、e-ラーニングシステムのID発行費用が別途必要となりますので、ご注意ください。
- ・2022年から引き続き、グループ受講をされている方で、レポート提出を希望されている方は修復塾履修担当者にお問合せ下さい。E-mail： bunkazai@jia.or.jp

統括講座（最終講座）について

- ・統括講座は2024年3月9日（土）開催いたします。
オンラインと会場で行う予定ですが、詳細は後日お知らせいたします。

受講修了のお願いと修了認定・CPDについて

- ・2024年度の新規講座は、受講料などの変更を検討中です。できるだけ、2023年度中に受講を修了していただきますよう、お願いいたします。
- ・2022年度までに全講座の受講をお申込みいただいた方で、今年度修了される予定の方は2023年度の修了認定証を発行する予定です。
- ・現地講座、座学講座を講座毎で申し込まれるかたは、CPDの取得のみとなります。
修了証は出ません。

重要文化財 門司港駅見学 ノスタルジック海峡建築探訪



2023年12月10日（日）CPD6単位（申請中）

JIA修復塾の現地講習会を兼ね、門司港駅の見学と門司及び下関の建築探訪を行います。重要文化財門司港駅で見学と保存修理の座学を行い、午後には、下関と門司の近現代建築を視察＝ノスタルジック海峡建築探訪を行い、近現代建築の保存再生の座学を実施します。門司港駅の見学と保存修理については、（公財）文化財建造物保存技術協会今岡武久氏にお話しいただきます。

講師 今岡 武久氏

元文化財建造物保存技術協会福岡監理事務所副所長として門司港駅の改修修理や北九州地区の歴史的建造物の修理に数多くたずさわれ、現在、東京の同協会事業部設計室設計課（伝統）課長。

※参加される方は、別添の「JIA文化財修復塾参加者の皆様へ」の注意事項を必ずご確認ください。

■申し込み先はこちらから

<https://forms.gle/tRbpg3nP2KqegFoo6>



■タイムスケジュール

- 9：30 門司港駅改札口集合
集合後門司港駅見学と保存修理座学
- 12：00 昼食
- 12：50 門司港から下関港へ（下関の建築探訪）
- 15：00 下関から門司港へ
- 15：30 近現代建築保存再生座学
（門司生涯学習センター）
- 17：00 終了予定
※移動と食事に1.5H要します

■参加費：4000円

（昼食、門司～下関間の交通費は各自負担）

振込先：みずほ銀行 青山支店 普通預金1084898
シャ)ニホンケンチクカキョウカイ

■定員：20名（先着順）

■問い合わせ：鰺坂 徹 ajisaka@venus.dti.ne.jp

主催：（公社）日本建築家協会/JIA文化財修復塾

国宝修復現場見学 と郭巨山会所見学



Photo：笹倉洋平

2024年1月22日（月）CPD6単位（申請中）

妙法院庫裏（国宝）の修復現場の見学と重要文化財の杉本家（京町家）、2023年の日本建築学会賞を受賞した魚谷繁礼氏設計の郭巨山会所（建築基準法適用除外）の研修見学会を企画しました。（魚谷繁礼建築研究所所員による案内）座学講座は、環境文化保存計画の菅澤茂氏をお迎えして、歴史的建造物の修理方法についてお話いただきます。

講師 菅澤 茂氏

工学院大学客員研究員 高野山大学客員教授
元京都府教育委員会文化財保護課
上級文化財保存修理技術者 1級建築士

【主な事業】
重要文化財建造物修理防災（西本願寺御影堂・阿弥陀堂、知恩院三門、教王護国寺東大門・五重塔、清水寺三重塔、本願寺総合防災、国宝光明寺楼門防災、他）、
ユネスコ世界遺産カスピ王墓復旧2015、
史跡高山寺災害復旧、鹿児島城御楼門復元）

※参加される方は、別添の「2023年JIA文化財修復塾参加者の皆様へ」の注意事項を必ずご確認ください。

■申し込み先はこちらから
<https://forms.gle/fNPP8jgiRavkDadx6>



■タイムスケジュール
9：30 妙法院庫裏（国宝）修復現場見学
12：00 昼食・移動
13：00 杉本家見学
14：00 郭巨山会所
15：00 菅澤氏による座学講座
17：00 終了予定
※移動と食事に1.5H要します

■参加費：4000円
（昼食、移動の交通費は各自負担）
振込先：みずほ銀行 青山支店 普通預金1084898
シャ)ニホンケンチクカキョウカイ

■定員：20名（先着順）

■問い合わせ：岡田良子 okada@spaceclip.jp

主催：（公社）日本建築家協会/JIA文化財修復塾

披雲閣耐震工事現場見学 と香川県庁舎東館見学



2024年2月9日（金）CPD6単位（申請中）

玉藻公園内にある披雲閣（重要文化財）の耐震工事現場の見学と香川県庁舎東館（重要文化財）の見学、香川県文化会館（設計 大江宏）から旧香川県立体育館（設計 丹下健三）までの街歩きを企画しました。

講師には、披雲閣の保存計画を担当されている高松市埋蔵文化財センターの高上拓氏、県庁舎の耐震改修工事を担当された香川県営繕課副課長の香川政治氏、生涯学習・文化財課の石田真弥をお迎えしてお話しいたします。

披雲閣

講師 高上 拓氏

高松市埋蔵文化財センター

香川県庁舎東館

講師 香川 政治氏

（香川県営繕課副課長）

講師 石田 真弥氏

（香川県生涯学習・文化財課文化財専門員）

■申し込み先はこちらから

<https://forms.gle/hm3WTGTNAMsCkChn8>



■タイムスケジュール

9:00 披雲閣（玉藻公園内）見学・座学

12:00 移動・昼食

13:00 香川県庁舎東館見学・座学

15:00 街歩き

香川県文化会館—アイパルー—

百十四銀行本店—旧香川県立体育館の予定

16:30 終了予定

※移動と食事に1.5H要します

■参加費：4000円

（昼食、移動の交通費は各自負担）

振込先：みずほ銀行 青山支店 普通預金1084898
シャ)ニホンケンチクカキョウカイ

■定員：20名（先着順）

■問い合わせ：斎藤 圭一 saito.ar@gmail.com

※参加される方は、別添の「2023年JIA文化財修復塾参加者の皆様へ」の注意事項を必ずご確認ください。

主催：（公社）日本建築家協会/JIA文化財修復塾